

部長、局長、常務、一番偉いのは誰？

さて、実際に会社に入ったとする。するとそこにはいろんなルールがある。

そのひとつが役職だ。会社の中では、仕事は自分より役職が上の人からの指示に従って行く。上の役職の人のことを「上司（じょうし）」と言い、特に自分が直接指示してもらう立場にある人を「直属の上司」と言う。直属するのは同じ部署（ぶしょ／次のページで説明する「部」や「課」のこと）に所属しているという意味。役職が上がっていくことを出世というのは知ってると思うけど、会社員は出世するとそのぶん権限が大きくなり、責任が重くなる。給料もその分上がる。

役員・取締役（経営陣）

(会長)



…いない会社もある。たいていは社長を辞めた後になる。が、たいていは実権のない「名誉職」。会社にほとんど来ない会長も多い。

社長

…一番偉い人。たいていは「代表取締役社長」という肩書き。大きな会社だと年間収入は2千万円～0億。

副社長・専務

…社長の部下というよりは、経営者の2番手と考えたほうがいい。会社によっては何人かいることもある。専務と副社長の上下関係は微妙。

常務

…ここらあたりまでは経営陣の一角。「役員」のひとり。
※「顧問」「相談役」など、偉い人は他にもいて上下関係は実はよくわからない。

部長、局長



…〇部、〇局という何かの部署の責任者。大きな会社だと年収は1千万円以上。「部」の下に「局」があったり、「局」の下に「部」があったり会社によっていろいろ。

次長、局次長

じちよう

…部長・局長の下にいる人。他に「副部長」「部長代行」なども。

課長



…課長以上になると管理職と呼ばれる。普通は残業手当とかはなくなる。チェーン店の店長とかもだいたいこのクラス。

(課長代理・代行)

…課長と同等の場合もあるし、実際は係長だけだと会社の都合で一時的に〇課の責任者になってる場合もある。微妙。課長補佐なんて肩書きもある。

係長



…元々の意味は〇係の責任者。(〇係とか設定してない会社も多いけど) 会社によって権限や責任はかなり違うが、現場の責任者といったところ。

主任

…現場のリーダー的な役職。
しかしてその実態は、権限は平社員とたいして変わらない会社が多い。

平社員



…新人とか入社数年目の人たちだね。一番動き回らないといけない人たち。

管理職

中間管理職